

平成30年2月13日

全校朝会

### 「ユニセフ募金」

おはようございます。

先週の金曜日から、平昌（ピョンチャン）冬季オリンピックが始まりました。昨日は男子モーグルで銅、女子スピードスケートで銀、女子ジャンプで銅メダルをとりました。校長先生もテレビを見ながら応援していました。高木選手はもう少しでした。でもがんばりました。金メダルをとれるように、これからも日本の選手を応援していきたいと思います。

さて、今日はこのあとユニセフ募金の説明があるので、ユニセフ募金についてお話しします。

まず、ユニセフという名前ですが、ユニセフは、United Nations Children's Fundの略で、日本語に直すと「国連児童基金」になります。国際連合の1つの機関です。ユネスコもそうです。ユニセフはすべての子供の命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子供たちを最優先に、190の国と地域で活動しています。保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護などの支援活動を行っています。

日本は、今は援助する側ですが、かつては援助を受ける側でした。今から70年以上前、日本は戦争に負けました。そのころの日本の子供たちはたいへんな栄養不良で、着るものなど生活に必要なものも十分にありませんでした。そこでユニセフは、戦争が終わってからの15年間にわたり、給食に出す粉ミルクや洋服をつくるための綿や医療品などの援助をしてくれました。

今も世界中には困っている子供たちがたくさんいます。今は日本が助ける番です。「情けは人のためならず」ということわざを副校長先生が話しましたが、いい行いをすれば、そのことは自分に返ってきます。「困ったときはお互い様」ということわざもあります。

少しのお金でもいいので、自分のお小遣いから寄付をしてください。「ユニセフ募金があるから、お母さん、お金ちょうだい」では、情けをかけたことにはなりません。自分のお金を出して、少し我慢する気持ちが大切です。

それでは、ユニセフ募金の発表を聞きましょう。